



のんびりと車窓を眺めるような旅が好きだ。その場所で日常を生活している人たちを感じながら自分の足で歩いて時間を同じにしてみる。列車での移動は飛行機よりもより日常を感じれると思っている。

ベトナムは南北に細長い国。北に位置する首都ハノイ (HANOI) から中間地点にあるダナン (DANANG) という町までは列車で約14時間。

南北を走る統一鉄道には、寝台車両 (2段ベッドで4人1室コンパートメントと3段ベッドで6人1室)、通常の座席車両 (ソフトシート、ハードシートの2種類) があり、それぞれ料金が異なる。

ハノイを出発したのは夜11時。その日、ハロン湾1DAYツアーから戻った足で列車に飛び乗った。

ハロン湾ツアーで席が隣になった縁から一日を一緒に過ごした日本人の男の子との別れ、旅の一期一会。今からまた一人旅が始まるのだなあ感慨深くなってしまいながら、真つ暗な窓の外を見ながらホイアン (HOI AN) を目指す。

列車の通路は人が一人しか通れないくらいの幅しかなく、そこをワゴンをひいた駅員さんがご飯 (おかゆや揚げ物など) を売りに来たり、おばさんがお菓子や飲み物を売り歩く。ワゴンでめいっばいの通路を通り過ぎようとする人たちは体をよじらせ、人とワゴンがうまく具合に寝台部屋へ入りくみながらすり抜けてゆく。ベトナムの人には当たり前の電車の中でのこんなちょっとした事も私には興味深くておもしろい。私のいた寝台車両には欧米人のバックパッカー (団体が多い。とっても賑やか!)、ベトナム人の家族連れ (帰省っぽい) やビジネスマンなどで、ベトナム人は食事道具やティーセットなどを持参していた。個々の部屋はさながら小さな自宅で、列車の中という意識がだんだん薄れ、みんなで大きな共同体の集合住宅にいるような不思議な感じがした。

列車が走り続ける中で時間も気にすることなく好きなだけ本を読んで過ごすことの充足感、通路に立って何も考えず目の前を過ぎてゆく景色を眺める穏やかな幸福感、片道14時間という時間を往復しても飽きることはなかった。ずっと続

く田舎の風景、砂ぼこりが舞うかすんだ駅に並ぶ商店、サッカーをする子どもたち、そして美しい蓮の花が浮かぶ池。ゆっくり進む列車のスピードに合わせて見えるものは、ベトナムに生きている人の日常がそこにある。

私の目的地ホイアンに行くには、ダナン駅 (GA DANANG) から車で約1時間。ホイアンは世界遺産にも登録された古い町並みが残る、のんびりとした独特な空気感を持つ美しい小さな町だった。その昔、アジアとの貿易が盛んだった頃に日本人によって架けられたという「日本橋 (CAU NHAT BAN)」や華僑の人々が現在も使用しているという「集会所」、中国様式にベトナムと日本の様式も取り入れられた「家屋」も当時のまま残っている。これらの観光名所を周遊パスを購入し、町並みを楽しみながらのんびりと散策していると、わたしはホイアンの町をたった1日で離れる事が残念で悔しくてならず、ずっとここにいたいと思うほど強く心惹かれていた。滞在したホテルもハノイでは考えられない料金で、広く開放感もあり、調度品もセンスよく、どこかしらイメージしていたフランス統治時代の馨りが残る部屋とバルコニーから目の前に広がるゆるやかな田園には、ベトナムの三角形の帽子をかぶった農作業をする人と牛が平和でのどかで旅の疲れを癒してくれ、本当に素敵だった。ホイアン名物 (ここでしか食べられない) という「ホワイトローズ」と呼ばれる食べ物 (米粉で作った皮にエビのすり身を詰めて蒸したもの) もとても美味しかった。今回の旅で一番好きな食べ物。

ベトナムの人は穏やかで、たくさんの笑顔にも出会えた。もっともっとベトナムを知りたいと思えた今回の旅は、自分の心を開けば、一期一会であってもハッピーを共有できる瞬間や国なんて関係なく、人と人は同じで世界はつながっているとあらためて感じさせてくれた。CAM O' N! (ありがとう)



今後の予定

12月19日 (金)

特別編 オープンクラス
(弁天町市民学習センター)

12月26日、1月2日 お休み

1月9日 (金) 通常学習開始

1月16日～2月20日 通常学習

2月27日、3月6日 特別編
(港区民センター)

3月13日、20日、27日

ボランティア研修 (学習はお休み)
(港区民センター)

*時間はいずれも午後7時～

*通常学習は市岡高校同窓会館

*特別編と研修は会場費100円

編集後記

今号には、七夕でおなじみの五味さんの紀行と、今年から加わった新しい若いメンバーからの原稿2本を掲載しました。そして、中学校に短期留学中のフェンリ君にも感想を書いてもらいました。

朴さんのベトナム旅行記は文章も写真もすばらしく、カラーでお見せできないのが残念です。一回ではもったいないので、次号に続きを書いてもらうことになっています。お楽しみに。

毎年好評のワンワールドフェスティバルは今年十二月の開催になりました。関西最大の国際交流関係のイベントです。数多くの国際交流、国際支援のNPO、NGOが参加します。市岡日本語教室もチヂミとトツポギの屋台を出しますので、皆さん来てくださいね。二〇日、二一日、上六の国際交流センターです。お待ちしております。

こちらも恒例の天保山のお餅つき。今年は十四日の日曜日に行われます。若い学習者の皆さん、餅つき体験はいかがでしょう。商店会では、つき手が足りなくて、元気な学習者に来て欲しいそうです。若い労働力が不足している日本の社会を写しているようです。

何はともあれ、今年も無事に一年が終りました。ボランティア団体の運営はいろいろ大変なことがいっぱいあります。皆さんのご協力をお願いいたします。来年はどんな年になるのか、不安もあり、楽しみもある年の瀬です。新しいボランティアや学習者との出会いを期待して、みなさん、良いお年を。

(F)